

2007年10月03日

報道関係者各位

株式会社日本システムディベロップメント
アイパス・インク

モバイル PC の運用管理に最適な IT 資産管理ツールの販売を開始

～ 社内と社外に分散された IT 資産を効率よく安全に運用管理～

株式会社日本システムディベロップメント(東京都新宿区、代表取締役社長:沖中 一郎、<http://www.nsd.co.jp/> 以下NSD)とアイパス・インク(本社:米国カリフォルニア州レッドウッドシヨア、会長兼CEO:ケン・デンマン、<http://www.ipass.co.jp/> 以下 アイパス)は、アイパスが開発したモバイルPCの運用管理に最適なIT資産管理ツール「iPass Device Management」(アイパス・デバイス・マネジメント)をNSDがリセラーとして2007年10月から販売開始することを発表しました。

企業において社外からモバイルPCでリモートアクセスする社員が増えており、社内のLAN環境にあるPCはもちろんのこと、企業のファイアウォールの外に位置する社外のモバイルPCを確実に管理していくニーズが高まっています。社外からモバイルPCを使って社内ネットワークにアクセスする場合、様々な場所やネットワーク環境から断続的にアクセスが行われるため、従来のIT資産管理ツールでは最新のセキュリティパッチやウイルスソフトの適用など、企業のセキュリティ要件を満たすPC管理が困難になってきています。

この課題を解決するのが、アイパスが開発したIT資産管理ツール「iPass Device Management」です。iPass Device Managementは、社外と社内の両方に分散したPCを効率よく安全に運用管理することができます。特に、社外から利用するモバイルPCについては、利用者がインターネットに接続できれば、VPN接続を確立させなくても、安全に管理することができます。

iPass Device Managementは、各PC端末にインストールするエージェント、サーバー、管理コンソールによって構成されています。エージェントが常にPC端末内の状態を調べ、IT担当者が設定した間隔でサーバーとコミュニケーションしながら、PCが必要とするアップデートやパッチの適用などを自動的に行います。また、IT担当者は、管理コンソールを通じて、ソフトウェア・ハードウェアのインベントリ管理、セキュリティパッチやウイルスソフトアップデートの配布・適用、アクセスレポートの作成などを行うことができます。

NSDでは、今後市場の拡大が予想される、企業のリモートアクセス環境に対応したシステム管理ソリューションの提案力を強化しており、今回のアイパスIT資産管理ツール「iPass Device Management」の販売を足がかりにして、既存顧客のみならず新規顧客への拡販を目指します。また、アイパスは、これまで日本市場において企業向けのリモート接続サービスを中心に展開してきましたが、今回NSDの販路を通じてリモート端末対応IT資産管理ツールの販売を開始することにより、統合的なリモートアクセスソリューションを提供していきます。

【iPass Device Management の特長】

- ソフトウェア・ハードウェアのインベントリ情報：
 - ソフトウェア・ハードウェアに関する詳細な情報を迅速に集め、そのインベントリ情報を容易にカスタマイズして表示することができます。オープンデータベースを提供するため、レポートニーズに応じたレポート表示を行うことができます。
- ソフトウェア配布：
 - 社外・社内に分散した PC 端末に対して、アップデートやパッチ、アプリケーションの配布を行うことができます。また、企業が従来から使っている既存のソフトウェア配布用のスクリプトを活用することができます。
- 自動精査と修正：
 - PC 端末内の脆弱性を自動的に精査し、特定のグループユーザや個々のシステムにセキュリティパッチやアンチウイルスアップデートを適用して脆弱性を修正することができます。
- 幅広いパッチ管理：
 - Windows セキュリティ パッチのみだけでなく、非セキュリティ関連パッチや、Microsoft Office、Exchange、SQL Server、Adobe Acrobat、Macromedia Flash、WinZip、Firefox などのアプリケーションもカバーします。
- 動的帯域制御 / プライオリティ・コントロール
 - アップデートは帯域が利用できる時のみに行われ、他の重要なユーザアプリケーションを優先させることができます。また、アップデートをクリティカルもしくは非クリティカルに定義し、高速接続時にアップデートを実行するかしないかなどを決めることができます。
- チェックポイント・リスタート
 - ファイルをダウンロード中にネットワークが切断されても、次回接続時に切断された時点から再開することができます。
- リアルタイムレポートニング
 - IT 担当者は、運用管理するハードウェア、ソフトウェア、OS パッチ、アンチウイルス適用状況などの最新レポートを受け取ることができます。全てのレポートは、Web ベースの管理コンソールを通じて見ることができ、印刷したり、Microsoft Excel にエクスポートしたりすることができます。
- 標準プロトコル
 - 通信には http/https を使用しています。
- Windows Vista に対応
 - Windows Vista と、それ以前の Windows OS に対応しています。

販売価格について

iPass Device Management の販売価格については、日本システムディベロップメント、第3システム本部営業部(下記参照)にお問い合わせください。

製品情報について

モバイル対応 IT 資産管理ツール「iPass Device Management」ご紹介ページ

<http://www.nsd.co.jp/service/ipass/dm/>

以上

【株式会社日本システムディベロップメントについて】

日本システムディベロップメントは、国内有数のIT企業(システムインテグレーター)として、さまざまな業種のお客様に、システムの設計・開発からビジネスソリューションやパッケージソフト、運用・保守、人材派遣までトータルのシステムサービスのご提供を行い、お客様の課題解決・事業価値の向上に努めています。

- ・ 所在地：東京都新宿区西新宿 2-7-1 新宿第一生命ビル
- ・ 代表者：代表取締役社長 沖中 一郎
- ・ 従業員数：3,632名(連結) (2007年3月31日現在)
- ・ 売上高：415億02百万円(連結)365億07百万円(単独) (2007年3月期)
- ・ U R L：<http://www.nsd.co.jp/>
- ・ 事業内容
システム分析・設計の受託 / プログラム開発及び受託 / コンピュータ室運営管理 / ソフトウェアプロダクト

【アイパス・インクについて】

iPass Inc. (本社：米国カリフォルニア州レッドウッドショア、会長兼CEO：ケン・デンマン、Nasdaq：IPAS、URL：www.ipass.com)は、企業向けにリモートのモバイル接続とデバイス管理を容易にするサービスを提供しています。iPassが提供する端末管理、セキュリティ管理、課金管理などによって、クライアント企業は、オフィスと支店や営業先、自宅を往来するモバイル・ワーカーに使いやすいブロードバンドソリューションを提供します。世界160カ国以上で展開するブロードバンド、無線LAN、ダイヤルアップ接続などのプロバイダーをバーチャル的に統合し、ユーザ・インターフェース「iPassConnect」を通じて、世界中の様々な場所から安全にネットワークにアクセスすることができます。アイパスのサービスはゼネラルモーターズ社、ハーシー・フーズ社、メロン・ファイナンシャル社、株式会社ニコンなどの「Global 2000」企業で採用されています。アイパスは1996年に設立され、現在北米、欧州およびアジア太平洋各地に拠点を持っています。2003年7月、NASDAQにて店頭公開をいたしました。アイパスの日本法人、アイパス ジャパン株式会社は2002年に設立されました。

iPass および「iPass Device Management」は、アイパスの登録商標です。

その他、記載された会社名および製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

サービス内容に関するお問い合わせ先

日本システムディベロップメント 第3システム本部営業部 iPass担当

TEL:03-3342-0992 / E-mail: ipass@nsd.co.jp

製品紹介ページ：<http://www.nsd.co.jp/service/ipass/dm/>

アイパスジャパン株式会社 担当：赤羽

TEL:03-3216-7271(10月14日まで)、03-6860-4523(10月15日より) /E-mail:yakabane@ipass.com

報道関係者からのお問い合わせ先

日本システムディベロップメント

担当：社長室

TEL:03-3342-1250 / E-mail: ir@nsd.co.jp

アイパス広報代理 ホフマン ジャパン株式会社

担当：中田

TEL: 03-5159-2145 / E-mail: knakata@hoffman.com